

新島村 議会だより

第63号

平成24年12月



平成24年第4回定例会（12月）

会期日程

第4回定例会は平成24年12月4日、5日の両日に開催され、各種補正予算などを審査しました。

もくじ

一般質問から…………… 2～3
議長の四季報…………… 4
編集後記…………… 4

Q 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をただすことができます。

表紙は語る

式根島の亀の甲にある村営の養殖場。十基あるイケスで真鯛、シマアジを飼育している。一基あたり二千尾を放流し、両種で計五千尾となっている。餌やりは、二人の専従員で午前中3時間、午後2時間ほどかけて完了となるが、水温が低いと魚の動きが鈍く、長引くという。

この日は曇り空で水温が冷たかったようで元気に食らいつく様子はなかった。現在真鯛一尾当たり千円（1kg）で販売しているが、魚価の低迷で厳しい競争にさらされている。期待を担った施設であり、市場をにらんだ新分野の開拓が急がれる。

山本均議員



てきたか。

その上でデイ・サービ
ス、ショートステイの機能
を持った施設を造り運営し
ていくことの可否、その理
由、問題点など具体的に答
えていただきたい。

**式根島に高齢者の介護
施設の実現可能性は**

問 式根島の高齢者の現
状をどのように把握
しているか。これに対して
村はどのような対策を講じ

答

12月1日現在の式根
島の高齢化率はとい
うと41%であり、新島村全
体の35%という現実から考
えると突出して高く、この
ため村では様々な対策を講
じている。

村ではあくまでデイ・
サービス等を含めた居宅介

護サービス拠点施設を考え
ておりいわゆるお泊り施設
は可能性が低い。

**眼科の巡回診療の利便性
の向上の見込みはあるのか**

問

眼科の巡回診療につ
いて待ち時間が長い
ことに住民の間に不満があ
り、これまでの経緯、現状
における問題点、今後の見
込みなどわかりやすく教示
願いたい。

答

眼科専門診療は毎月
実施していて多い月

には百五十名を超え夜遅く
まで診察することがある。
受診者それぞれの症状が違
うために医師が費やす時間
も一人一人違う。外来診療





同様に前の方が終わるまで待っていただくふうになる。

一昨年までは眼科医 2 名、検査技師 1 名、検眼技師 1 名のスタッフ体制で単年ごとに契約していたが、メインの医師から契約の更新が困難になったとの連絡を受け、現在、医師は 1 名になっている。

眼科医師は希少なので離島へ出張していただける医師の確保は大変厳しい状況にある。現在のスタッフ体制を維持しながら今後は東京都や関係医療機関に派遣協力をお願いして医師及びスタッフの確保を図ってきたい。

お台場のくさやの試食会
はどのようなものだったか
今後の課題は

問 10月27日、28日の土曜、日曜にお台場で

昨年に引き続きくさやの試食会があった。今回はどのくらいの来客があったのか、内訳を含めて開示願いたい。

本年度以降も実施するの
か、これまでの成果を踏まえ改善すべき点、問題点など回答願いたい。

答 初日の来場者はフ

ラダンスを披露したことで集客効果が高まり
1千8百人程度の来場があった。2日目は雨模様で
4百人程度に終わった。
今後の課題は開催時期の再検討が上げられる。PR
活動による効果がなかなか
検証できないが、くさや試

食会による新島村のPRは
大事な観光戦略企画と考え
ている。

清水欣吾議員



村長の政治姿勢について

問 今後の基本的な行財
政策について。

答 村の5ヶ年事業計画
の見直しを行っている

ます。26、27年度は大規模事業が予定されており
就業の場を作り、活力ある村づくりに努めてまいります。

問 式根島支所の建て替えは。

答 支所建て替えと合わせて福祉拠点施設の整備を考えています。

空き家再生事業について

問 所管する部門を明確にして対策を実行してはどうか。

答 所管する部署を明確にして、検討をしてみたい。

問 家主が地元不在で放置された実態は。

答 実態調査を行い、空き家再生利用の取組は重要と考えております。

松くい虫の被害状況と対策について

問 村の事業としてい
る、松くい虫駆除の
成果は、又、今後の事業予
定は。

答 松枯れなど起きていない状況です。

事業の成果は十分に出ている。今後も東京都の協力をいただき、継続事業として、経過を見守ってまいります。



● ● 議長 の 四 季 報 ● ●

- 1 0 月 4 日 東京都島嶼町村長会・島嶼町村議長会の第 2 回合同会議が島嶼振興公社にて開催
- 1 3 日 村民運動会に参加
- 1 8 日 平成 24 年第 2 回臨時議会
- 2 0 日 新島村防災訓練に参加
- 2 1 日 調布飛行場祭りに出席
- 2 4 日 第 63 回全国漁港・漁場大会が青森県で。議員 2 名と共に出席 (26 日まで)
- 2 7 日 第 2 回クサヤ祭りがお台場にて開催され状況等視察 (写真右)
- 3 1 日 日の出町議会議員の一行 7 名が来島。新島村議会議員と意見交換 (11 月 1 日まで)

- 1 1 月 6 日 東京都町村議長会とその現地研修会が青ヶ島村にて開催 (8 日まで)
- 1 0 日 新島ガラスアートフェスティバルに出席
- 1 3 日 全国離島議長会総会がグランドアーク半蔵門にて開催
- 1 4 日 全国町村議長会の大会がNHKホールにて開催
- 1 6 日 全国過疎地域自立促進連盟第 43 回定期総会がメルパルクホールにて開催
- 2 3 日 平成 24 年度新島村表彰式に出席

- 1 2 月 4 日 平成 24 年第 4 回定例会 (5 日まで)



編集後記

「知って行わざるは、知らざるに同じ」

貝原益軒

足元に「ゴミ」が落ちてい
るのに気づいたら拾います
か？それとも自分が捨てた
ものではないから拾う必要
はないと考えますか。又は、
いつか誰かが掃除してくれ
るだろうと思いますか。

確かにいま自分が拾わな
くても、いつか誰かがやっ
てくれるかもしれません。
また、たとえ「ゴミ」が落ちた
ままに放置されていても不
愉快さは残るにせよ、大問
題に発展することは少ない
かもしれません。

しかし、この「ゴミ」の例を
仕事に置き換えてみると、
ちよっとしたミスや細かな
サービス、面倒な雑務に当
たります。そして、それら
はビジネス上、致命傷に発

展する可能性を持つていま
す。但し、見つけたそばか
ら、こまめに取り除けば、
大きな損害を防ぐことがで
きるでしょう。小さなミス
を発見できるように視野を
広く持ち、また、発見した
ミスは決してそのままにし
ない。

尚、「見て見ぬふり」や
面倒がって後回しにすると
いう姿勢は、意外とまわり
の人達には分かってしまつ
ものです。せめて、そうな
らない様に心がけたいと思
います。

※貝原益軒

(かいばらえきけん)……
江戸時代の本草学者、
儒学者。

●広報編集委員

戸田邦市